

賃貸名人の通信をファイアウォールに許可させる (ウィルスバスター)

《Microsoft SQL Server 2005》

以下の手順は、賃貸名人（Microsoft SQL Server 2005）の通信が『トレンドマイクロ ウィルスバスター』のファイアウォール機能にブロックされ、クライアント（子機）からの接続に障害が発生した場合にご利用いただきます。

〔目次〕

- | | |
|---------------------------------|----|
| ■ 『ウィルスバスター2010 の設定』 | 2 |
| ■ 『ウィルスバスター2011 クラウド』 の設定 | 14 |

(クリックすると該当のページにジャンプします)

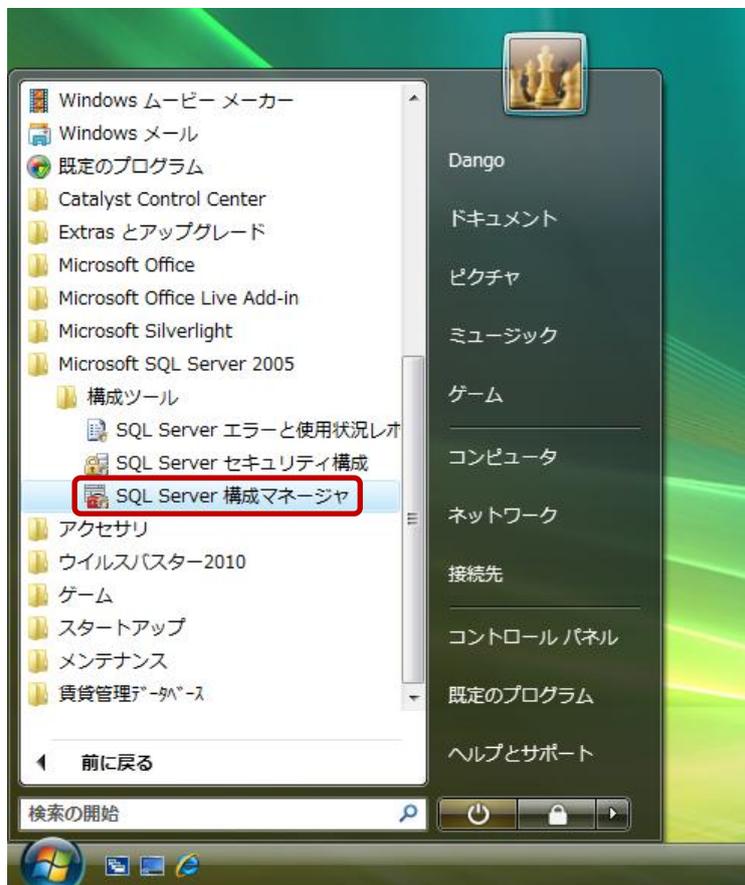
■ 『ウイルスバスター2010 の設定』

※以下の手順は、サーバ(親機)にてウイルスバスター2010 のファイアウォール機能が「有効」に設定されている運用環境を対象としています。

※以下の手順は、Microsoft SQL Server 2005 (2007年4月リリース以降の賃貸名人に同梱) をご利用の場合の設定です。

(1) ポート番号の確認 ※サーバ(親機)で作業します

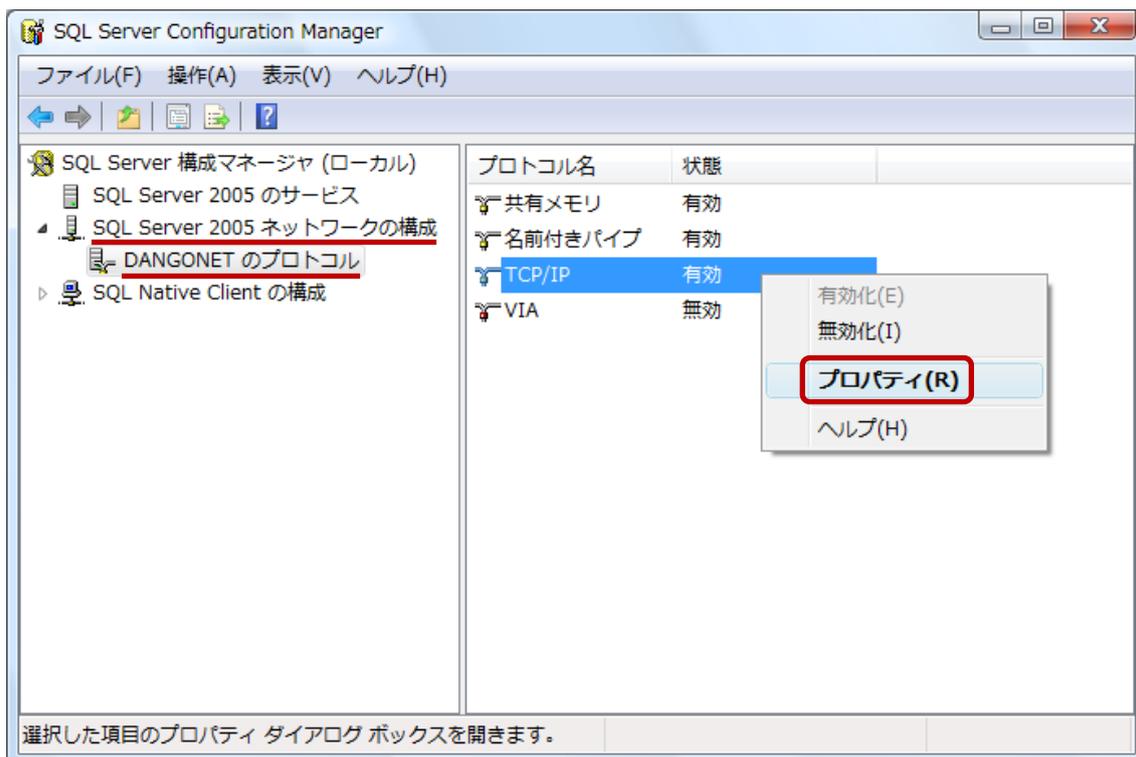
1. スタートメニューより [すべてのプログラム] → [Microsoft SQL Server 2005] → [構成ツール] → [SQL Server 構成マネージャ] をクリックします。



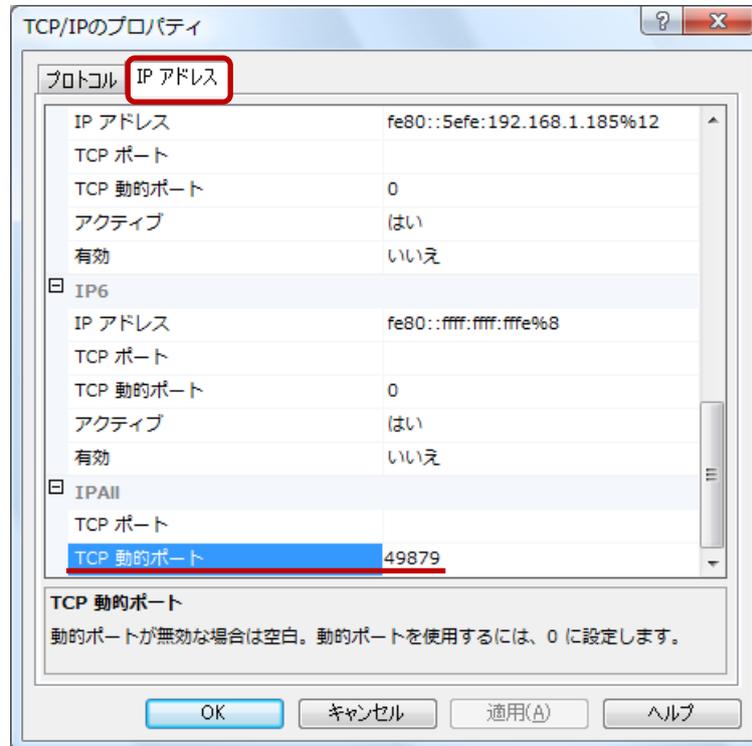
※以下のメッセージが表示された場合は、[続行] ボタンをクリックします。



2. 「SQL Server 構成マネージャ」が起動しますので、左ウィンドウにて [SQL Server 2005 ネットワークの構成] → [DANGONET のプロトコル] と展開し、右ウィンドウにて [TCP/IP] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。



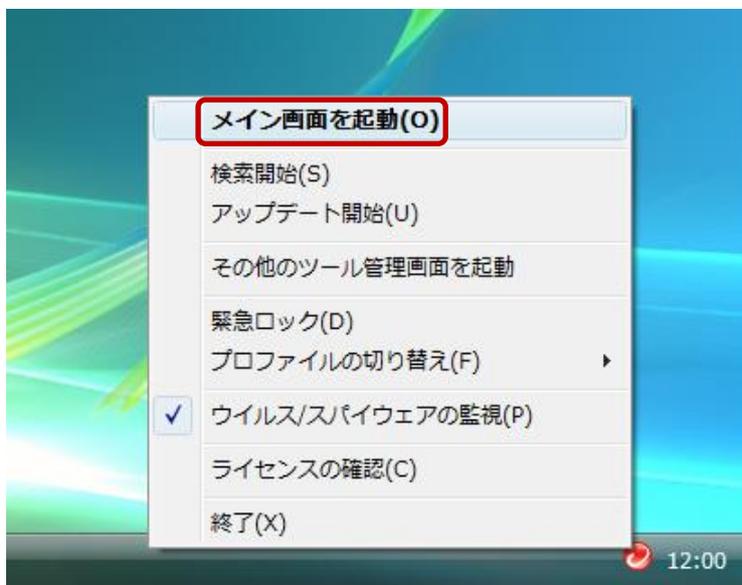
3. [TCP/IPのプロパティ] ウィンドウで、[IP アドレス] タブを選択し、「TCP 動的ポート」項目に表示されているポート番号を確認します（以下の例では「49879」がポート番号です）。



以上でポート番号の確認は完了です。

(2) ウィルスバスター2010 の設定 ※サーバ(親機)で作業します

1. タスクトレイのアイコンを右クリックし、[メイン画面を起動] をクリックします。



2. メインウィンドウで、[パーソナルファイアウォール] を選択し、右ウィンドウにて [設定] をクリックします



3. [パーソナルファイアウォール] ウィンドウで、[詳細設定] ボタンをクリックします。



4. [プロファイルの詳細設定] ウィンドウで、[例外ルール (プロトコル)] タブを選択し、[追加] ボタンをクリックします。



5. [例外ルールの追加または編集] ウィンドウが表示されます。

例外ルール (パーソナルファイアウォールネットワーク) の追加または編集

説明(D): 新規例外ルール (プロトコル)

方向: 受信(I) 送信(G)

処理: 許可(L) 拒否(K) 警告(W)

プロトコル(P): TCP

ポート: すべてのポート(S)
 指定のポート(E) 例:10, 15, 20-30

タイプ(Y): すべてのIPアドレス

IPv4およびIPv6
 IPv4
 IPv6

? この画面の説明(H) OK キャンセル(C)

6. [例外ルールの追加または編集] ウィンドウで、「送信」用の設定を行います。変更点は以下の通りです。

説明 : 「SQL Server (DANGONET) 送信」に変更

方向 : 「送信」を選択

ポート : 「指定のポート」を選択し、(1)で確認したポート番号を入力(この例では「49879」)

例外ルール (パーソナルファイアウォールネットワーク) の追加または編集

説明(D): SQL Server (DANGONET) 送信

方向: 受信(I) 送信(G)

処理: 許可(L) 拒否(K) 警告(W)

プロトコル(P): TCP

ポート: すべてのポート(S)
 指定のポート(E) 49879 例:10, 15, 20-30

タイプ(Y): すべてのIPアドレス

IPv4およびIPv6
 IPv4
 IPv6

? この画面の説明(H) OK キャンセル(C)

変更が完了しましたら、[OK] ボタンをクリックします。

7. [プロファイルの詳細設定] ウィンドウに「送信」用の設定が反映されたことを確認し、再び [追加] ボタンをクリックします。

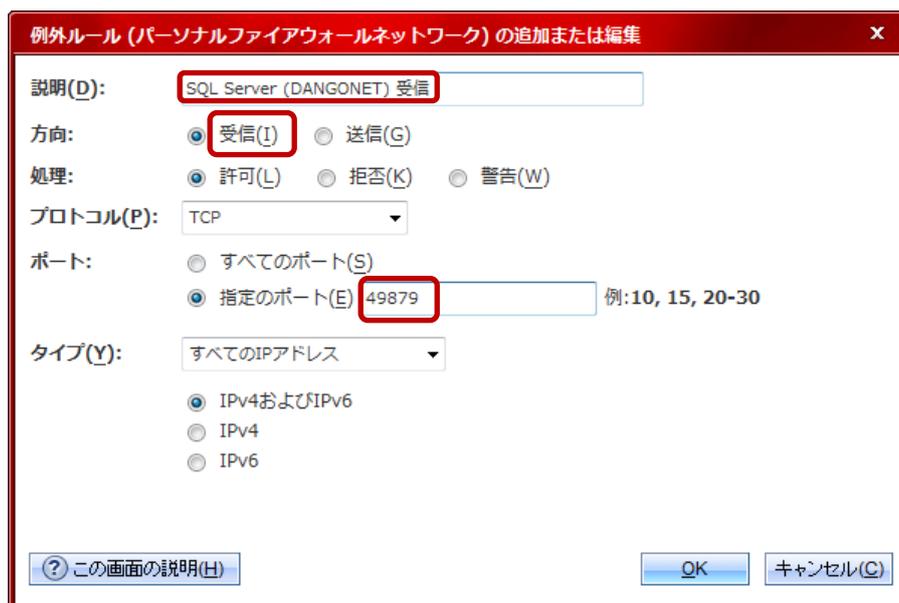


8 [例外ルールの追加または編集] ウィンドウで、「受信」用の設定を行います。

説明 : 「SQL Server (DANGONET) 受信」に変更

方向 : 「受信」を選択

ポート : 「指定のポート」を選択し、(1)で確認したポート番号を入力(この例では「49879」)



変更が完了しましたら、[OK] ボタンをクリックします。

9. [プロファイルの詳細設定] ウィンドウに「受信」用の設定が反映されたことを確認し、[OK] ボタンをクリックします。



10. [パーソナルファイアウォール] ウィンドウで、[OK] ボタンをクリックします。

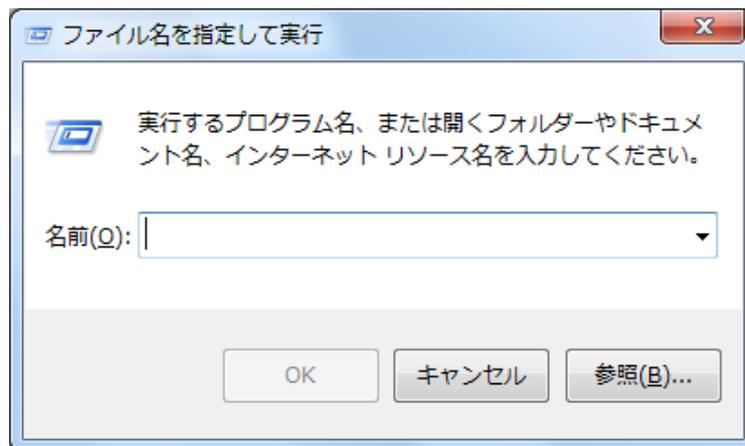


以上でウィルスバスター2010 の設定は完了です。

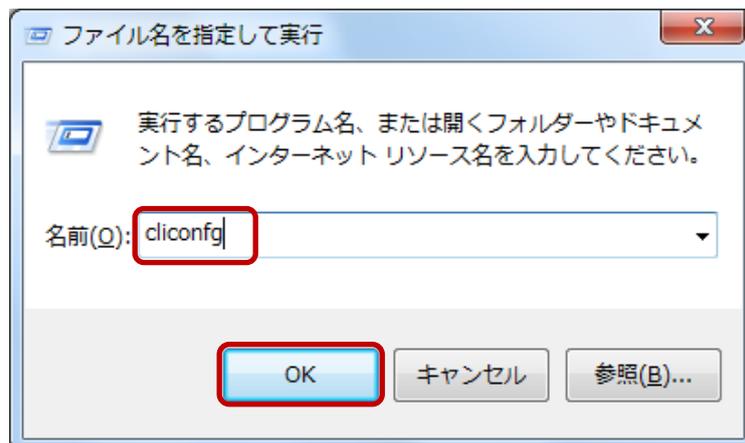
(3) SQL クライアント設定ユーティリティ (cliconfg) の設定

※クライアント (子機)で作業します

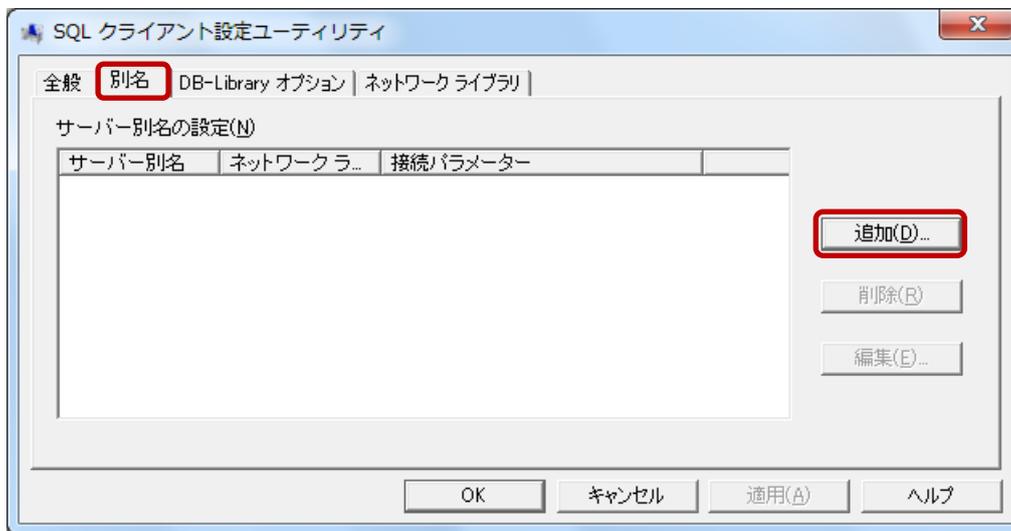
1. [Windows] ()キー + [R] キーで、[ファイル名を指定して実行] ウィンドウが表示されます。



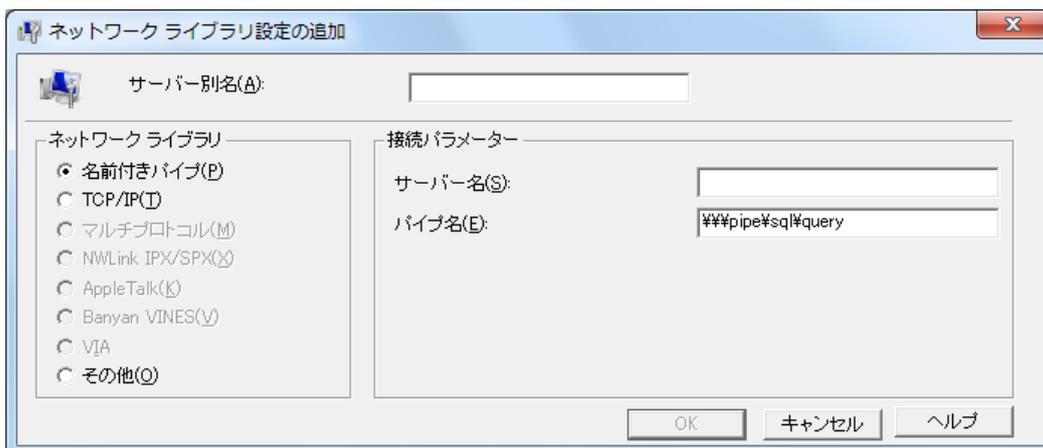
2. [ファイル名を指定して実行] ウィンドウで、「名前」項目に「**cliconfg**」と入力し、[OK] ボタンをクリックします



3. 「SQL クライアント設定ユーティリティ」が起動しますので、[別名] タブを選択し、[追加] ボタンをクリックします。



4. [ネットワーク ライブラリ設定の追加] ウィンドウが表示されます。



5. [ネットワーク ライブラリ設定の追加] ウィンドウで、ご運用の環境に合わせて設定を行います。変更点は以下の通りです。

ネットワーク ライブラリ : 「**TCP/IP**」に変更

サーバー別名 : 「[サーバーのコンピュータ名]¥dangonet」(例 : server¥dangonet)

あるいは

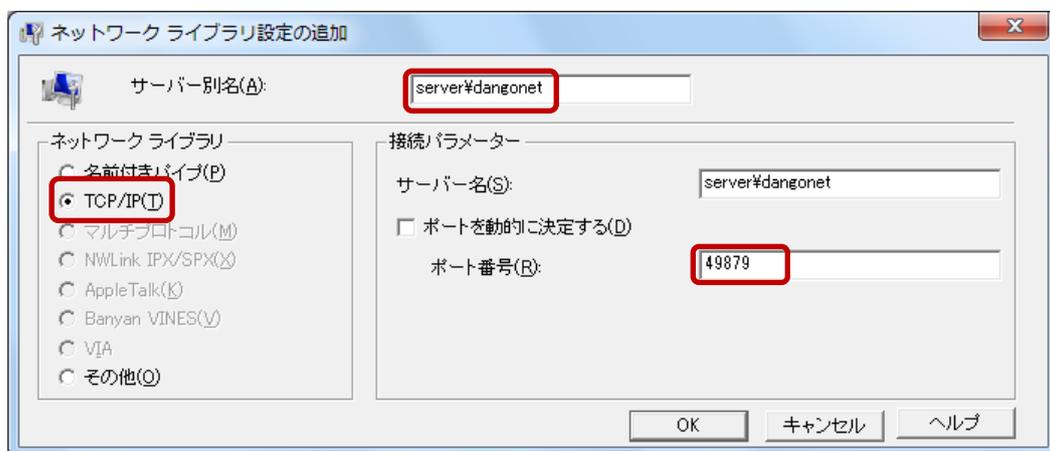
「[サーバーの IP アドレス]¥dangonet」(例 : 192.168.0.2¥dangonet)

を入力

接続パラメーター : 「サーバー名」項目は「サーバー別名」と同一であることを確認

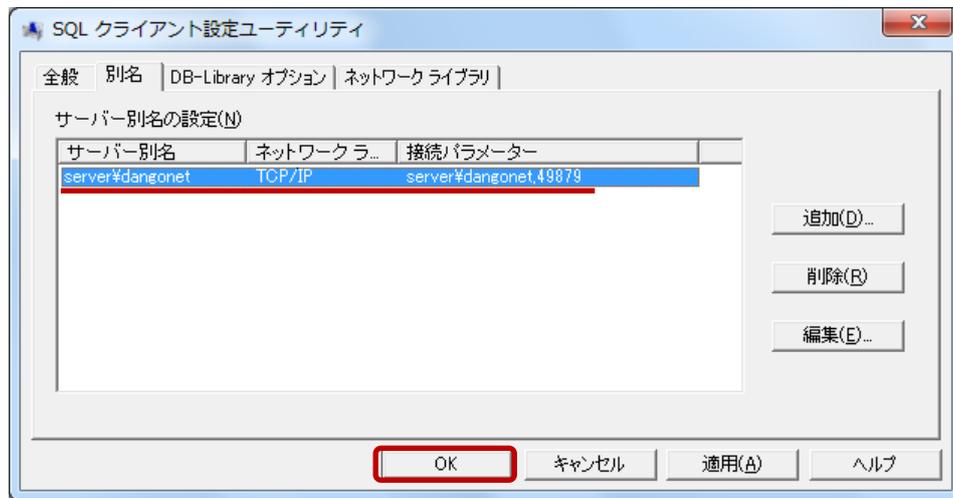
「ポートを動的に決定する」チェックを外す

「ポート番号」項目に(1)で確認したポート番号を入力 (例 : 「49879」)



変更が完了しましたら、[OK] ボタンをクリックします。

6. [SQL クライアント設定ユーティリティ] ウィンドウに設定が反映されたことを確認し、[OK] ボタンをクリックします。



以上で SQL クライアント設定ユーティリティの設定は完了です。クライアントからの接続をご確認ください。

■ 『ウィルスバスター2011 クラウド』の設定

『ウィルスバスター2011 クラウド』は、独自のファイアウォール機能を持たず、Windows に付属する『Windows ファイアウォール』を用います。

従いまして、賃貸名人の通信障害が発生した場合、『ウィルスバスター2011 クラウド』ではなく、『Windows ファイアウォール』を設定する必要があります。

『Windows ファイアウォール』の設定手順に関しては **FAQ : 18001** をご参照ください。